

時代	西暦	岡山県のできごと
旧石器	数万年前から	鷲羽山遺跡(倉敷市), 宮田山遺跡(玉野市) 恩原遺跡(上斎原村), 戸谷遺跡(八束村) 氷河期が終わりに近づく
	12000年前	黄島貝塚(牛窓町), 瀬戸内海に海水が入り始める
縄文	~6000年前	海面が最高に達する。羽島貝塚, 磯の森貝塚(倉敷市) 彦崎貝塚(灘崎町), 里木貝塚(船穂町) 津雲貝塚(笠岡市), 阿津走出遺跡(倉敷市)
	前期	津島・高尾・百間川(岡山市) 門田・熊山田(邑久町)などの遺跡
弥生	中期	貝殻山・百間川(岡山市), 用木山(山陽町), 沼(津山市)などの遺跡
	後期	奥坂・百間川・加茂・鹿田(岡山市), 上東, 楯築(倉敷市)などの遺跡
古墳	4世紀	浦間茶臼山・備前車塚(岡山市)などの古墳
	5世紀	月の輪(柵原町), 造山(岡山市), 作山(総社市), 両宮山(山陽町)などの古墳
飛鳥	6世紀	箭田大塚(真備町), こうもり塚(総社市), 牟佐大塚(岡山市)などの古墳
	7世紀	このころ鬼の城(総社市)が作られる このころから秦廃寺(総社市), 賞田廃寺(岡山市)が作られはじめる
奈良	695	吉備真備が生まれる 関戸廃寺(笠岡市), 日畑廃寺(倉敷市)
	713	備前国の北部をさいて美作国をおく
平安	741	備中国分寺(総社市)が建てられる
	817	藤原冬嗣が興福寺南円堂に法華会を行い, その料米として備前鹿田荘の地子をあてる
	870	備中・備後両国から鑄銭料の銅を進貢する
	893	三善清行が備中介に任ぜられる。備中に疫病が流行して多数の死者がでる
	939	藤原純友が備中釜島で反乱する
	986	鹿田荘のことに關して備前守藤原理兼が任務をとかれる
	1129	備前守平忠盛が瀬戸内海の家賊を追討する
	1133	源空(法然)が美作久米郡稻岡荘に生まれる
	1141	栄西が備中吉備津宮の神主の子として生まれる
	1167	西行が備前児島に来る
	1169	備中国足守荘絵図(岡山市)がつくられる(神護寺に現存)
	1177	鹿ヶ谷の隠謀により, 大納言藤原成親が児島に流される (その後備前・備中国境の有木別所で暗殺)
1179	関白藤原基房が備前湯迫(岡山市)に流される	
1183	水島合戦で木曾義仲軍が敗れる。妹尾兼康(平氏軍)が戦死する	
1184	梶原景時・土肥実平が備前・備中など5か国の守護となる 源平両軍が備前藤戸で戦い, 平氏が敗れる	
鎌倉	1193	備前国が東大寺再建の料にあてられ, 重源が来る
	1221	承久の乱がおこり, 頼仁親王が児島(倉敷市林)に流される
	1262	県下初の禅宗寺院井山宝福寺(総社市)がひらかれる

南北朝	1271	新見莊 <small>にいみ した じちゅうぶん</small> の下地 中 分が行われる
	1287	時宗 <small>じしゅう</small> の開祖 一遍 <small>いっぺん</small> が備中地方に遊行 <small>ゆぎょう</small> 、布教する
	1299	このころ、備前福岡莊・鹿田莊・西大寺門前町などの市場が栄え始める
	1307	僧尊海 <small>そうそんかい</small> らが備中成羽川笠神付 <small>なりわ かさがみ</small> 付近に水路をひらく
	1332	後醍醐天皇 <small>ごたいご</small> が隠岐に流される途中、美作院庄に留まる
	1336	足利直義 <small>あしかがただよし</small> が備中福山城 <small>ふくやま</small> に新田勢を破り、尊氏 <small>たかうじ</small> は児島に上陸する
	1351	吉備津神社の社殿が焼失する
	1392	明德 <small>めいとく</small> の乱での功によって播磨・備前守護赤松義則 <small>よしのり みまさか</small> に美作守護職が与えられる
	1420	雪舟 <small>せつしゅう</small> が備中赤浜 <small>あかはま</small> に生まれる
	1425	吉備津神社の本殿・拝殿が再建される
室町	1441	赤松満祐 <small>あきまつね</small> が足利義教 <small>よしのり</small> を殺し播磨 <small>はりま</small> に下り(嘉吉 <small>かきつ</small> の乱)、備前・美作に出兵するが、山名氏に敗れる。その功により、山名教清 <small>のりきよ</small> が美作守護、山名教之 <small>のりゆき</small> が備前守護になる
	1461	新見莊の莊民が、守護細川氏の代官安富氏の支配 <small>こぼ</small> を拒み、土一揆をおこす
	1467	応仁 <small>おうにん</small> の乱 <small>まきのり</small> がおこり、赤松政則は美作に入り守護山名教清と戦い、美作・備前・播磨の守護となる
	1484	山名勢が赤松政則と戦い、美作・備前・播磨の3国をほぼ制圧する
	1488	赤松政則が山名政豊 <small>まさとよ</small> を破り、美作・備前・播磨を回復する
	1521	浦上村宗 <small>うらかみむらむね</small> が赤松義村 <small>よしむら</small> を幽閉して殺し、美作・備前・西播に勢力を張る
	1549	宇喜多直家 <small>うきただなお</small> が乙子城 <small>おとご</small> から奈良部城 <small>ならべ</small> に本拠を移す
	1552	尼子晴久 <small>あまご はるひさ</small> が美作・備前・備中の守護に任じられる
	1562	毛利隆元 <small>もうり たかもと</small> が備中・備後の守護に任じられる
	1566	宇喜多直家が三村家親 <small>いそむか</small> を久米郡興禪寺 <small>くめ こうぜん</small> で暗殺する
戦国	1567	宇喜多直家が備前明禪寺 <small>みょうぜん</small> で、備中の三村元親 <small>もとむか</small> と戦い、これを破る
	1573	宇喜多直家が沼城 <small>ぬま</small> より、岡山城 <small>おかやま</small> に入り、城下町の建設を始める
	1574	宇喜多直家が浦上宗景 <small>むらかげ</small> との関係を絶つ
	1577	播磨で宇喜多勢が羽柴秀吉 <small>はしばひでよし</small> の軍に敗れる
	1579	宇喜多直家が織田信長 <small>おだ のぶなが</small> に降伏する
	1582	秀吉が高松城 <small>たかまつ</small> (岡山市)の水攻めを行う
	1592	宇喜多秀家 <small>ひでいえ</small> が朝鮮遠征軍 <small>そうとく</small> の総督 <small>しゅつじん</small> として出陣する(文禄 <small>ぶんろく</small> の役)
	1597	宇喜多秀家が再び朝鮮に出陣する(慶長 <small>けいちょう</small> の役)
	1598	宇喜多秀家が秀吉の五大老のひとりに列せられる
	1600	関ヶ原 <small>せきがはら</small> の戦いで、宇喜多秀家は西軍に属して戦い敗れる
安土桃山	1603	小早川秀秋 <small>こばやかわひであき</small> が岡山城主となり、備前・美作を領有する
	1603	池田忠継 <small>いけだただつぐ</small> が備前 28 万石を、森忠政 <small>もりただまさ</small> が美作 18 万 6500 石を領有する
	1604	岡山・津山両藩が領内の総検地を実施する
	1609	池田光政 <small>みつまさ</small> が岡山城内で生まれる
	1614	県下の諸侯が大阪冬の陣 <small>おさかふゆのじん</small> に参戦する
	1616	津山城 <small>つゆまき</small> ができあがり城下町ができる
	1620	津山藩主森忠政が幕命により領民を募り大阪城の石垣 <small>つの</small> を修築する
	1632	池田光政が国替 <small>くにがえ</small> で鳥取から岡山へ移封される
	1637	島原 <small>しまはら</small> の乱に岡山藩などが派兵する
	1641	岡山に花島教場 <small>はなばたけ</small> が設けられる
江戸	1642	水谷勝隆 <small>みずの や かつたか</small> が松山 5 万石の藩主になる

- 1650 熊沢蕃山くまざわばんざんが岡山藩ばんがしらの番頭ばんとうになる
- 1652 高梁川たかぎの高瀬舟たかぎねふねが新見まで通航する
- 1666 岡山藩が多数の寺社を淘汰する
- 1669 岡山西中山下に岡山藩校とうたが建設される
百間川ひゃくまがわを掘り岡山城下を洪水から守る
- 1671 岡山藩に社倉米しゃそうまいの制度が設けられる
- 1673 和気郡に閑谷学校かんこがっこうの講堂ができる
- 1679 岡山藩がはじめて藩札はんさつを発行する
最初の藩営倉田新田くらたができ、倉安川くらやすがつくられる
- 1687 岡山の後園こうえんが着工される(明治初年、後樂園となる)
- 1689 岡山藩では庄屋しょうやを名主なぬし、年寄としよりを組頭くみがしら、組頭はんがしらを判頭かいはしやうと改称する
- 1707 閑谷学校の全貌ぜんぼうが完成する
- 1717 岡田藩内に新本義民一揆しんほんぎみんいつぎがおこる
- 1726 津山藩内に山中一揆さんちゆうがおこる
- 1744 板倉勝澄いたくらかつすな、伊勢国いせのくにから備中松山藩に移る
- 1770 笠岡で小作騒動せうどうがおきる
- 1782 真言宗常福寺(岡山市葵)あおいだんかの檀家一同が代官の命による真宗への改宗を拒否する
- 1792 足守藩が藩校追琢舎ついたくしゃを建てる
- 1793 宇田川玄随うだがわげんずい、『西説内科撰要』を刊行する
- 1796 早川正紀はやかわまさとし(久世代官)が久世くせに郷学典学館ごうがくてんがくかんを建てる
- 1797 笠岡に郷学敬業館けいぎようかんが建てられる
- 1814 黒住宗忠くろずみむねただが黒住教くろずみきやうをひらく
- 1820 南画の大家浦上玉堂うらかみぎよくどうが死ぬ
- 1823 庭瀬藩が藩校誠意館せいいかんを建てる
- 1824 興除新田(岡山市)ができる
- 1830 味野村野崎武左衛門あじののぎきぶさざえもんが大規模な塩田開発に着手する
- 1838 足守出身の緒方洪庵おがたこうあんが大阪で適塾てきじゆくをひらく
- 1844 岡山藩が木綿の専売制を始める
- 1849 岡山藩が小倉織こくらおりの専売制を始める
- 1853 一橋家ひとつばしけが江原陣屋えはらじんやに興讓館こうじやうかんを設ける
岡山藩が房総海岸警備ぼうそうの幕命をうける
- 1856 岡山藩内に渋染一揆しぶぞめがおこる
箕作阮甫みづくりげんぽが幕府の蕃書調所教授になる
- 1859 川手文治郎かわてぶんじらうが金光教こんこうきやうをひらく
- 1863 岡山藩出身の藤本鉄石ふじもとてつせきが天誅組てんちゆうぐみの総裁になる
- 1865 松山藩主の板倉勝静いたくらかつまよが老中になる
- 1866 長州奇兵隊の脱走兵が倉敷・浅尾騒動あさおをおこす
岡山藩で農兵隊が編成される
津山藩内で農民一揆がおこる
- 1868 王政復古おうせいふくことともに岡山藩に松山藩(備中)征討の朝命がくだる
鶴田藩内に一揆がおこる
- 1869 岡山・津山両藩主が版籍奉還はんせきほうかんを建白する
- 1870 津山藩が衆樂園しゅうらくえんを設ける
- 1871 廃藩置県はいはんちけんが断行され、岡山・深津・北条ふかつ ほうじやうの3県がおかれる

大正	1873	北条県(美作)に 徴兵令反対一揆 がおこる	
	1875	岡山県令に 高崎五六 が任命される 小田県(旧深津県)が岡山県に合併される	
	1876	北条県が岡山県に合併され、現在の岡山県が発足する	
	1878	郡区町村編成法により、県下を1区(岡山)31郡152町1638村に編成する	
	1879	山陽新報(山陽新聞の前身)が創刊される はじめて岡山県会が開かれる。岡山天神山に県庁舎が新築される	
	1880	県下に 自由民権運動 が高まり、全国にさきがけて 国会開設請願書 を元老院に提出する	
	1881	岡山市花畑 <small>はなばたけ</small> に岡山紡績所ができる	
	1882	景山英子 らが岡山女子懇親会を結成する	
	1887	石井十次が岡山に孤児院をひらく	
	1889	岡山区に市制をしき、3町451村になり町村制が施行される	
	1890	県下を7選挙区(定数8)に分け、第1回衆議院議員選挙が行われる	
	1900	県下31郡を19郡に統合する。第六高等学校が岡山市に開校される	
	1902	三好伊平次らが備作平民会を組織する	
	1903	岡山市に電話が開通する (加入者260人)	
	1905	岡山市に上水道ができる(全国で8番目) 藤田開墾1区が完成する	
	1907	第17師団が岡山市津島(現岡山大学構内)に設置される	
	1909	宇野港の築港が完成する	
	1912	岡山駅～後樂園間に市内電車が開通する	
	1913	犬養毅・尾崎行雄の憲政擁護の大演説会が岡山市で開かれる	
	1918	県下各地で 米騒動 がおこる	
	1920	第1回国勢調査 が行われる。このときの県下の人口は121万7698人である	
	1921	岡山市で最初のメーデーが行われる 児島郡藤田農場で 小作争議 がおこる	
	1923	岡山県水平社創立大会が県商品陳列所で開かれる	
	1924	日本農民組合岡山県連合会が創立される	
	1927	普通選挙による最初の県会議員選挙が行われる	
	1928	人見絹枝 がアムステルダムオリンピック800m競走で第2位に入賞する	
	1931	政友会総裁 犬養毅 が首相になる	
	1932	五・一五事件 がおこる	
	1934	旭川堤防が決壊し、岡山市街の大半が泥海となる	
	1939	平沼騏一郎が内閣を組織する	
	1945	水島の飛行機工場が爆撃される 岡山市が空襲をうけ、大部分が焼失する	
	1948	岡山県文化賞が制定される	
	1949	岡山産業文化大博覧会が津島で開かれる 岡山大学が創立される	
	1952	県が水島地区を臨海工業基地として開発を始める	
	1953	山陽放送が放送を始める	
	1956	児島湾淡水湖化の堤防締切工事が成功する	
	1957	県庁舎の新築が完成する NHK岡山放送局がテレビ放送を始める	
	1962	岡山県南が新産業都市に指定される 第17回国民体育大会(岡山国体)が開かれる	
	1966	岡山県公害防止条令が制定される	
	昭和		

平成	1967	新倉敷市が発足する(倉敷・玉島・児島)
	1969	新岡山市が誕生する(岡山・西大寺)
	1970	黄金ルート, 鷺羽山スカイライン, 蒜山 ^{ひるぜん} ー大山スカイラインが完成する
	1972	山陽新幹線が岡山までのびる
	1973	岡山スモン訴訟が行われる
	1974	県北にハイウェイ時代, 中国自動車道(美作ー落合間)が開通する
	1975	ひかり号九州へ, 岡山ー博多間が開通する
	1978	瀬戸大橋の児島ー坂出ルート着工する
	1984	瀬戸大橋工事すすむ。吉備高原都市の構想ができる
	1985	国際化時代に向けて, 岡山市北部に新岡山空港の建設構想がでる
	1988	岡山空港開港, ジェット機時代を迎える 瀬戸大橋が完成し, 瀬戸大橋博が開かれる
	1991	岡山空港に初の国際定期便が就航(岡山ーソウル)
	1993	山陽自動車道(姫路東ー下関間)が開通する
	1994	英田郡英田町で初の F1 パシフィック・グランプリが開かれる 岡山市の AMDA(アジア医師連絡協議会)の呼びかけで, NGO(非政府組織)岡山サミットが開かれる